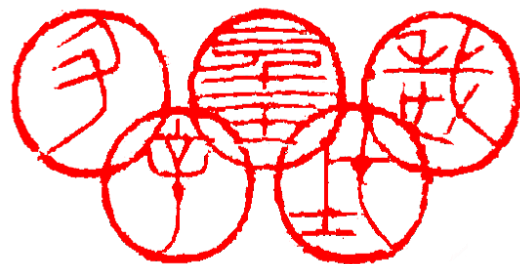


干支印で おしゃれな年賀状作り



令和2年10月17日(土) 13:30~16:30
栃木県総合文化センター第2議室

篆刻で使用するもの





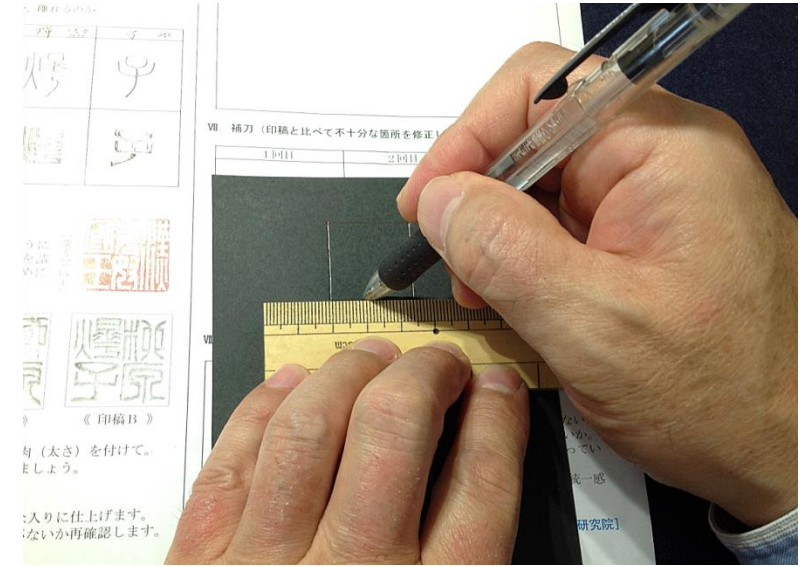
印面を平らに磨くのは
なかなか難しい

布字

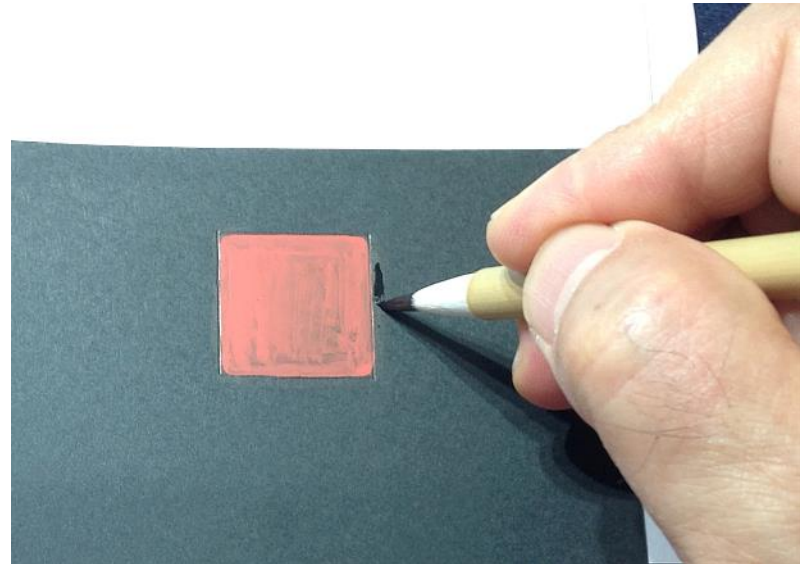
印稿を手鏡に映すと文字が
反転するので、それを見なが
ら印面に墨と朱墨で反転
させた文字を書き入れる。
布字の途中や最後に、印稿
のように書けているかどうか
手鏡に映して確認する。
なお、雁皮紙がんびしなどの薄い紙
に印稿を写したものをや、コ
ピーを利用して布字をする
方法もある。



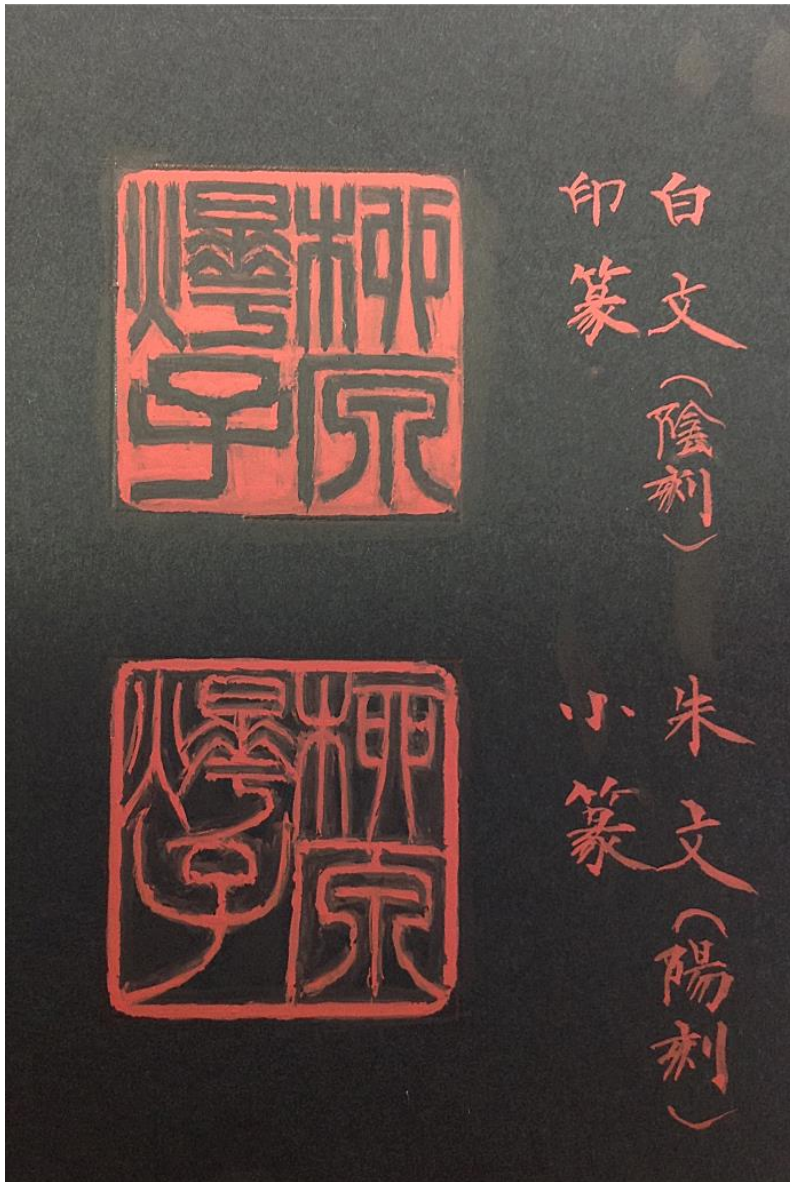
印稿の制作

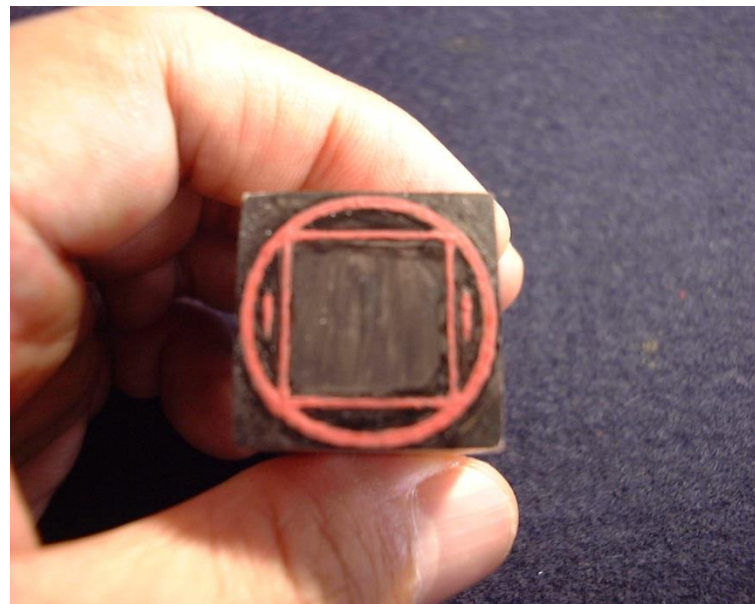


『柳原燐子』の場合



辺郭を正確に書くことが第一歩です





印稿『庚辰』(二〇〇〇年)の場合 書体は古璽

印刀の持ち方



あくとうほう
握刀法

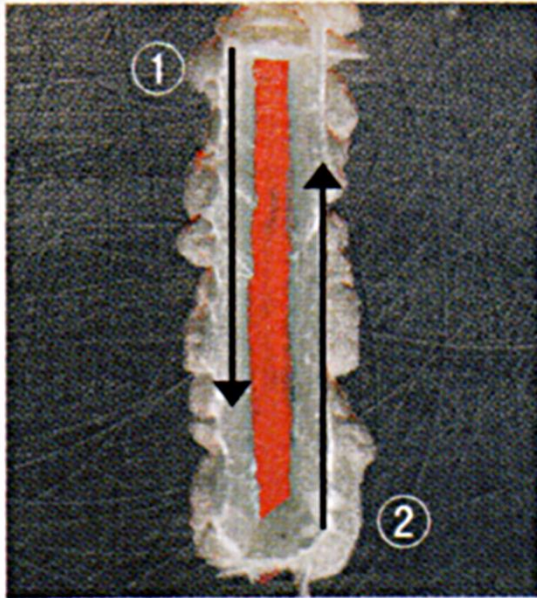


そうこうほう
双鉤法



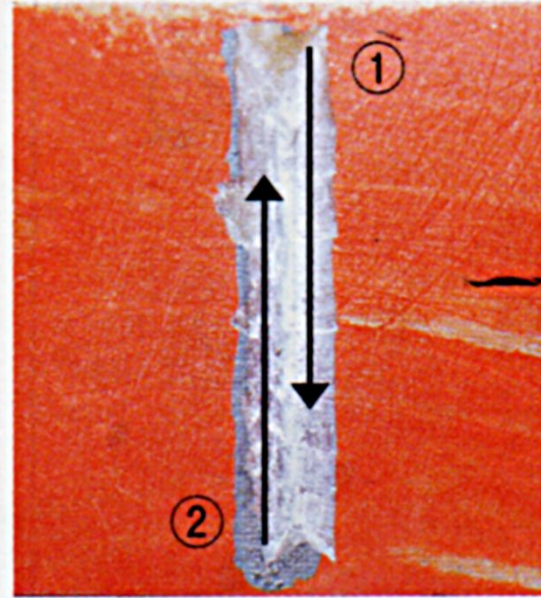
たんこうほう
単鉤法

運刀



朱文の刻し方

常に線の外側を刻る。



白文の刻し方

常に線の内側を刻る。

②は、印面の上下が逆になるよう印材を回して向きを変え、
白文は線の右側、朱文は線の左側を刻るようにする。

印刀の使い方



押し刀

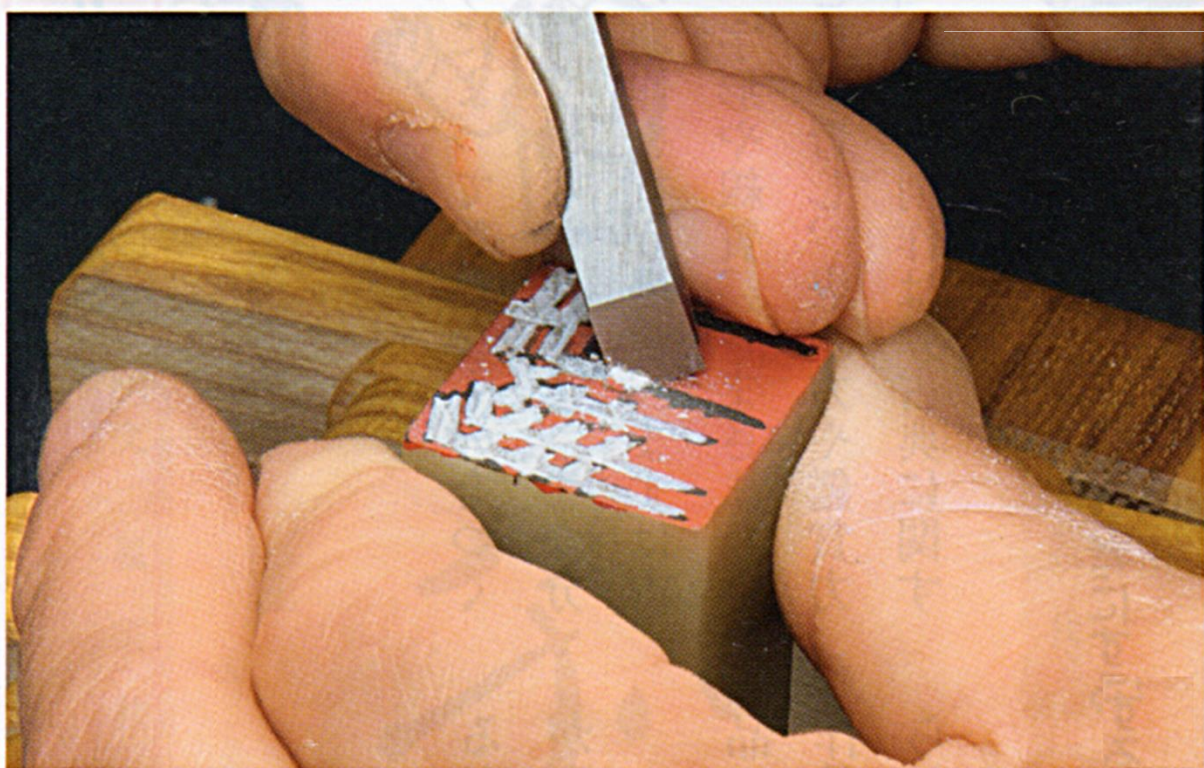


引き刀

運刀うんとう

筆と同じように、印刀いんとうは単たん鉤こう法ほうか双そう鉤こう法ほうで持つ。

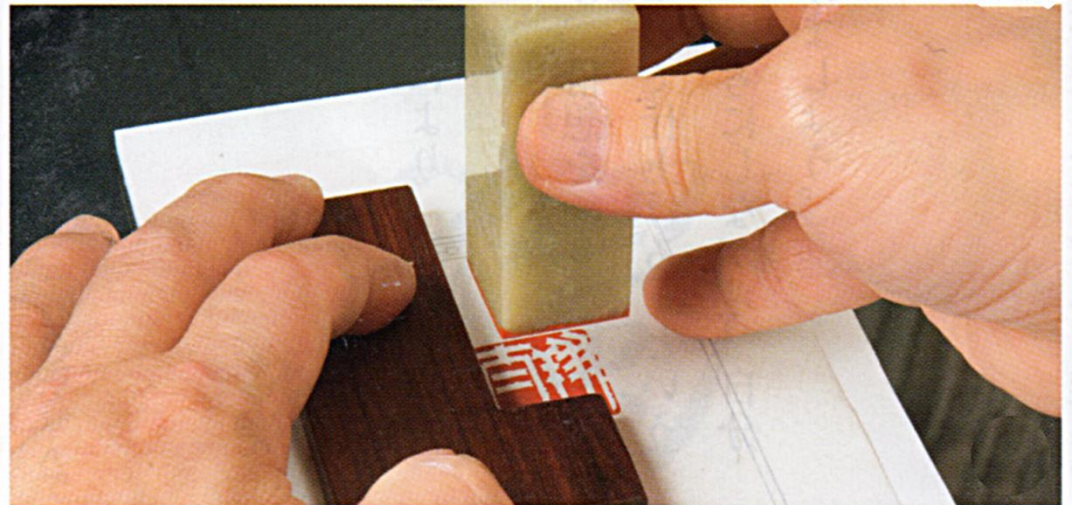
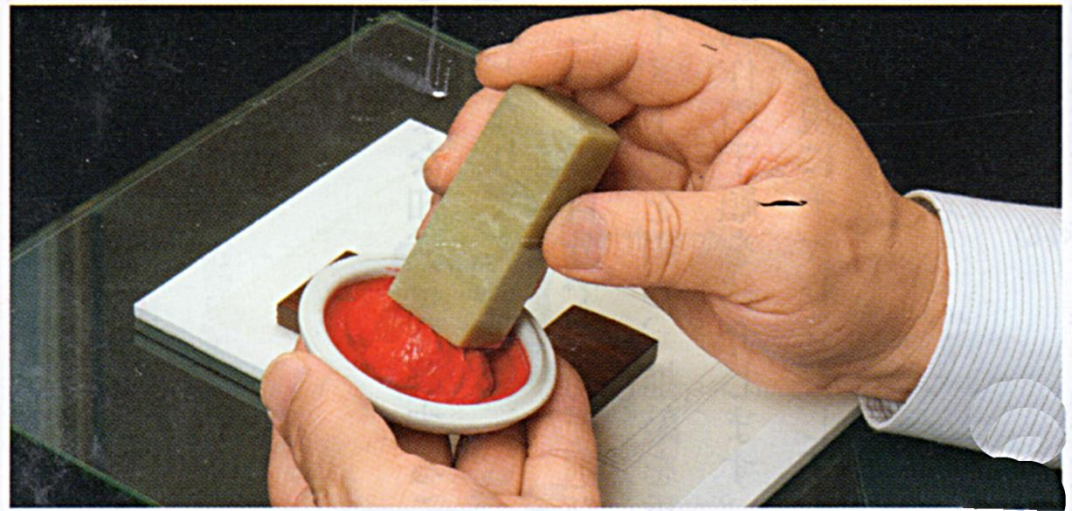
運刀法には、刀とうを手前てまへに引く「引き刀」と、手前から向こうに押す「押し刀」がある。起筆部分きひつぶぶんでは、刀の刃先はさきをグッと印面にくい込ませ、あとは線にそってバリバリと深く切り進むように力強く運刀するとよい。





刻り終えたら、石の粉をブ
 ラシで払い、印面に残った
 墨や朱墨を洗い落とすかふ
 き取る。よく練った印泥を
 印面にむらなく付け、押印
 する。印影を見ながら、刻
 り残しや刻り方の不十分な
 ところ、印稿と違う部分を
 補刀する。

押印・補刀
おうえいん ぼとう



印材が大きい時は印を左手に持つこともある

印泥は軽くたたくようにつけ、決して押し込めない

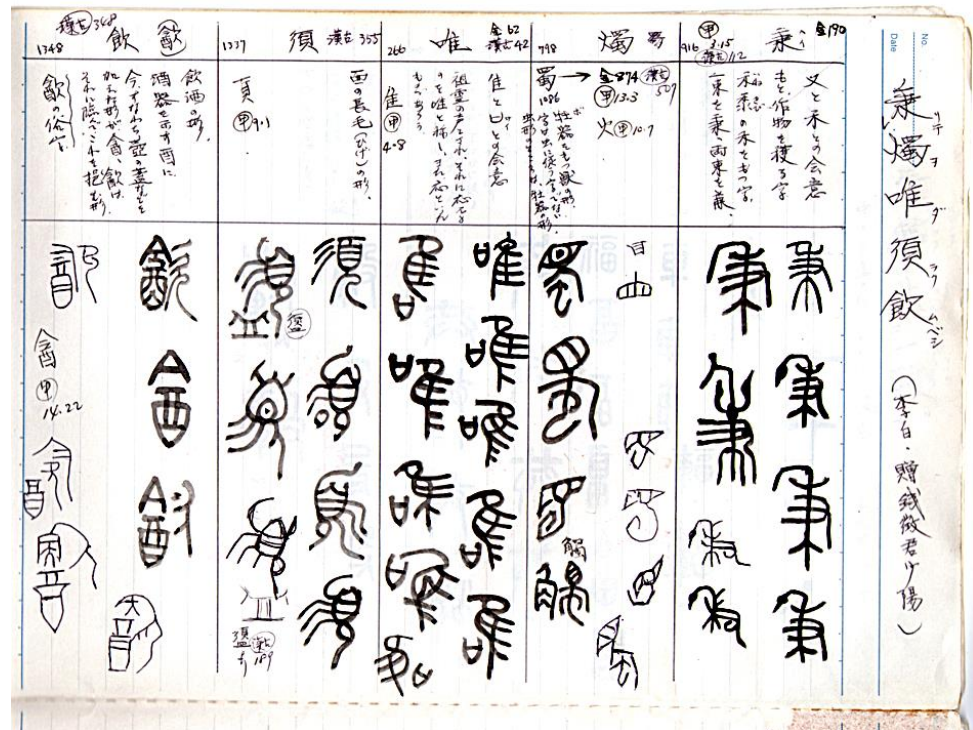
主な字書



印稿



校字ノ一ト



作品



賀詞の場合

1 賀正

賀 說文



中山王器



山簡用
包楚通



漢金文



漢鏡



漢鏡



天發



秦漢印



秦漢印



秦漢印



秦漢印



秦漢印



秦漢印



秦漢印



秦漢印



秦漢印



秦漢印



專文



三体石經



吳熙載



徐三庚



趙之謙



胡樹



古鈔



古鈔



古鈔



古鈔



古鈔



古鈔



古鈔



古鈔



古鈔



古鈔



秦漢印



封泥



徐三庚



趙之謙



趙之謙

印稿



印稿の反転



2 頌春

印稿



印稿の反転



 陳豫鐘	 吳熙載	 鄧石如	 胡震	 吳昌碩	 吳昌碩	 吳昌碩	 齊白石
 徐三庚	 趙之謙	 古鈺	 秦漢印	 秦漢印	 秦漢印	 秦漢印	 封泥
 包楚	 郭楚	 郭楚	 郭楚	 郭楚	 郭楚	 上楚	 包楚
 金文	 金文	 三体石經	 楚帛書	 曾侯乙楚簡	 包楚	 包楚	 包楚

 說文	 甲骨	 甲骨	 甲骨	 甲骨	 樂書缶
---	---	---	--	---	--

 胡樹	 郭楚	 金文 185
 徐三庚	 郭楚	 金文 223
 馬王堆帛書 5	 郭楚	 金文 222
 馬王堆竹簡 2	 上楚	 金文 7
 張家山漢簡	 上楚	 金文 226
 石門頌	 吳熙載	 金文 170
 相景君碑	 徐三庚	 金文 44
 張遜	 徐三庚	 金文 44

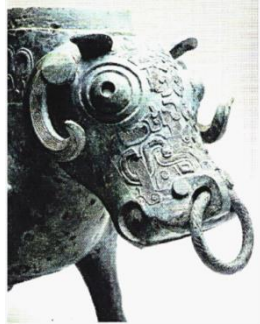


本年

二二一年
歲首

願

。



十二支（じふふた）

甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の十の要素。古代中国で考えられ、日本に伝えられた。十二支と合わせて干支（かんし、えと）といい、暦の表示などに用いられる。また、五行に当てはめて、2つずつを木（もく、き）・火（か、ひ）・土（と、つち）・金（こん、か）・水（すい、みず）にそれぞれ当て、さらに陰陽を割り当てている。

日本では陽を兄、陰を弟として、例えば「甲」を「木の兄」（きのえ）、「乙」を「木の弟」（きのと）などと呼ぶようになった。

「干支」を「えと」と読むのは、「この「兄弟」（えと）に由来する。

十二支（じふふた）

子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の総称。十二支は古く殷の甲骨文では十干と組み合わされて日付を記録するのに利用されている。戦国以降、日だけでなく、年・月・時刻・方位の記述にも利用されるようになる。動物をあてることについては、バビロニア天文学の十二宮が後から伝播してきて十二支と結びついたという説がある。

（ウィキペディアより）

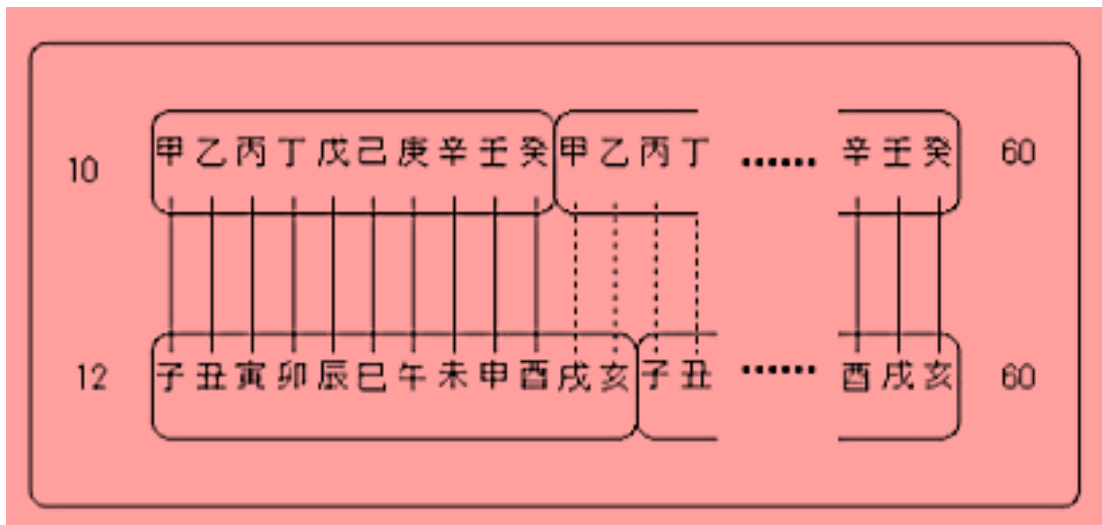


星齋



来楚生

五行	十干	干支 () 数字は順位							
木 き	木の兄 甲 きのえ	(1) きのえね 甲子	(11) きのえいぬ 甲戌	(21) きのえさる 甲申	(31) きのえうま 甲午	(41) きのえたつ 甲辰	(51) きのえとら 甲寅		
	木の弟 乙 きのと	(2) きのとうし 乙丑	(12) きのとい 乙亥	(22) きのととり 乙酉	(32) きのとひつじ 乙未	(42) きのとみ 乙巳	(52) きのとう 乙卯		
火 ひ	火の兄 丙 ひのえ	(3) ひのえとら 丙寅	(13) ひのえね 丙子	(23) ひのえいぬ 丙戌	(33) ひのえさる 丙申	(43) ひのえうま 丙午	(53) ひのえたつ 丙辰		
	火の弟 丁 ひのと	(4) ひのとう 丁卯	(14) ひのとし 丁丑	(24) ひのとい 丁亥	(34) ひのととり 丁酉	(44) ひのとひつじ 丁未	(54) ひのとみ 丁巳		
土 つち	土の兄 戊 つちのえ	(5) つちのえたつ 戊辰	(15) つちのえとら 戊寅	(25) つちのえね 戊子	(35) つちのえいぬ 戊戌	(45) つちのえさる 戊申	(55) つちのえうま 戊午		
	土の弟 己 つちのと	(6) つちのとみ 己巳	(16) つちのとう 己卯	(26) つちのとうし 己丑	(36) つちのとい 己亥	(46) つちのととり 己酉	(56) つちのとみ 己未		
金 かね	金の兄 庚 かのえ	(7) かのえうま 庚午	(17) かのえたつ 庚辰	(27) かのえとら 庚寅	(37) かのえね 庚子	(47) かのえいぬ 庚戌	(57) かのえさる 庚申		
	金の弟 辛 かのと	(8) かのとひつじ 辛未	(18) かのとみ 辛巳	(28) かのとう 辛卯	(38) かのとうし 辛丑	(48) かのとい 辛亥	(58) かのととり 辛酉		
水 みず	水の兄 壬 みずのえ	(9) みずのえさる 壬申	(19) みずのえうま 壬午	(29) みずのえたつ 壬辰	(39) みずのえとら 壬寅	(49) みずのえね 壬子	(59) みずのえいぬ 壬戌		
	水の弟 癸 みずのと	(10) みずのととり 癸酉	(20) みずのとひつじ 癸未	(30) みずのとみ 癸巳	(40) みずのととり 癸丑	(50) みずのとし 癸亥	(60) みずのとい 癸卯		



10と12の最小公倍数は60なので、干支は60回で一巡する。干支は、すべての組合せのうちの半数しかない。例えば、一覧01～60で5回ある「子」のうちに、「甲子」はあるが「乙子」はない。これは、10と12に共通の約数2があるので、干支の周期が積の120ではなく、最小公倍数の60になるからである。

仮に、十干ではなく十五干と十二支の組み合わせであれば、最小公倍数は同じ60になり、干支は計算上の3分の1に留まる。



干支印 「辛丑」 ひんちゆう・かのとうし

印稿制作のための校字資料

(篆隸大字典二を用いた場合)

⑧
つかの
しん
らんの
いと

辛 説文
甲 骨
甲 骨
甲 骨
甲 骨
甲 骨
甲 骨
金文(隸)
金文(隸)

金文(隸) 175
金文(隸) 167
金文(隸) 13
金文(隸)
金文(隸)
金文(隸) 7
金文(隸)
金文(隸)

金文(隸) 175
金文(隸) 13
三体石経
山簡
山簡
山簡
山簡
店簡

古 泉
袁安・袁敞
居 延 1
秦漢印
秦漢印
秦漢印
秦漢印
趙之謙

楊沂孫
古 鉢
古 鉢
古 鉢
古 鉢
古 鉢
秦漢印
秦漢印
秦漢印
趙之謙

把手のある大きな直針の形。これを入墨の器として用いるので、言・章・童・妾・辜(二)・商などの字は、もと辛に従う形に作る。辛に墨だまりをつけた形は章、入墨によって文身を施すことを文章という。

⑨
うし
ユウ

丑 説文
甲 骨
甲 骨
甲 骨
甲 骨
甲 骨
金文(隸) 142
金文(隸) 206
金文(隸) 31

金文(隸) 166
金文(隸) 13
樂書缶
侯馬盟書
三体石経
山簡
山簡
山簡
店簡

山簡
觀簡
漢金文
漢金文
漢 鏡
漢 鏡
山簡
山簡
山簡
店簡

専 文
崑台銘
楊沂孫
楊沂孫
古 鉢
秦漢印
秦漢印
秦漢印
吳熙載

沮簡
沮簡
坡簡
坡簡
坡簡
山簡
延 1
煌蘭

指先に力を入れて曲げ、強くものを執る形。又(ゆう)(手)の字形の、爪を立てている形である。十二支に用いるのは仮借義。

布字（十八種）

※布字したものの反転

- ①

印篆（白文）
- ②

印篆（白文）
内輪郭有り
- ③

印篆（白文）
内輪郭有り
- ④

印篆（白文）
辛丑2字
- ⑤

印篆（朱文）
- ⑥

印篆（白文）
変形内輪郭
- ⑦

印篆（白文）
環印内輪郭
- ⑧

印篆（白文）
亜字形内輪郭
- ⑨

印篆（白文）
菱形内輪郭
- ⑩

小篆（朱文）
- ⑪

小篆（白文）
2矩形
- ⑫

小篆（朱文）
辛丑2字
- ⑬

金文（白文）
環印内輪郭
- ⑭

金文（朱文）
勾玉形
- ⑮

古璽（朱文）
- ⑯

古璽（朱文）
扇面形
- ⑰

甲骨文（朱文）
- ⑱

古璽（朱文）
環印方郭

好みのものを選んで刻してみましよう。

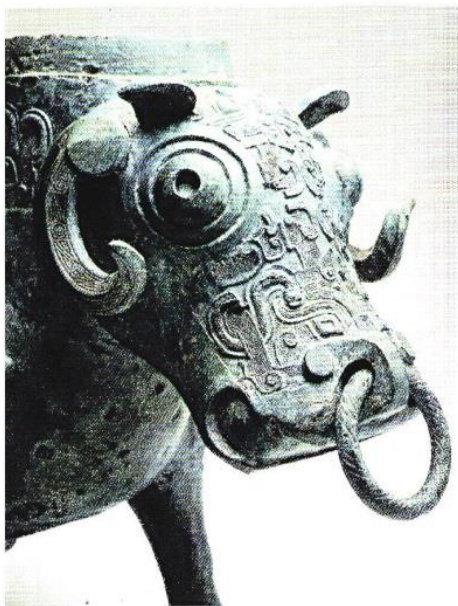
黒い部分を掘り、朱の部分を残します。

印材を印床に固定して、ケガをしないように
最初は印材の堅さを確かめながら慎重に少
ずつ刻むように彫ります。

布字したそのままの状態



刻す途中で字形がはつきりしない場合はこの画像で確認して下さい。



謹賀新年



辛丑歳旦

本年もよろしくお願ひします。

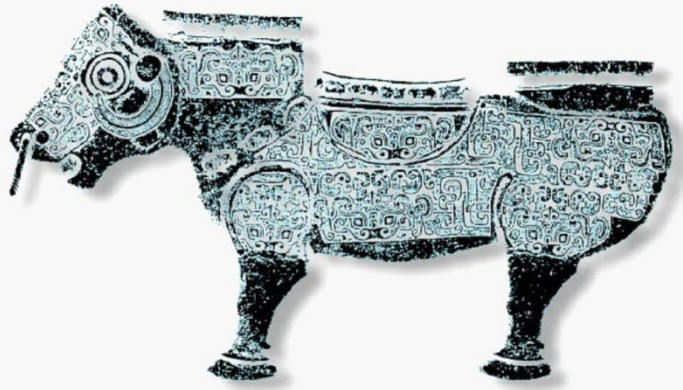
大浦舟人

恭頌新禧



本年もよろしくお願ひします

辛丑歳旦



謹賀新年



本年もよろしくお願ひします。

辛丑歳旦

大浦舟人

